

議案第1号

平成29年度 事業報告

本協議会は、平成29年度中において、関係機関・団体と連携し、交通安全教育を中心に、広報・啓発活動などの各種交通安全対策を積極的に推進し、交通事故の防止に努めた。

平成29年中の市内の交通事故は、発生件数1,842件（前年比148件減）、死者数21人（前年比5人増）、負傷者数2,089人（前年比226人減）となっており、発生件数、負傷者数は減少したが、死者数は増加した。

1. 会議

(1) 定期総会

- 平成29年7月7日（金）松山市役所11階大会議室 於
- ・平成28年度 事業報告・収支決算報告 承認
 - ・平成29年度 事業計画・収支予算 承認

2. 交通安全教育

交通安全教育は、交通ルールの習得と恒久的な交通安全意識保持のため、幼児から高齢者まで、全ての人を対象に行わなければならない。

そこで交通安全教育を生涯教育として捉え、保育所・幼稚園、学校、交通安全協会等と連携し、特に交通弱者である子どもや高齢者に対し重点的に交通安全教育を実施した。

(1) 交通安全こじかクラブ等での交通安全教育

幼児教育は、健全な交通社会人を育てる基礎要件であり、主に交通安全こじかクラブで、下記の内容を重点目標に、自主的又は指導員による交通安全教室（講話、腹話術、交通安全アニメ映画を利用した視聴覚教育）を実施した。

- ・安全を確かめて行動できる能力の育成と習慣づけ
- ・身近な生活における基本的な交通ルールの指導

(2) 小学校での交通安全教育

ア 交通安全教室

新入学児童を対象に、実践やダミー人形の衝突実験を通し、安全で正しい道路の歩き方を指導した。（P.21 図参照）

3年生を対象に、自転車の乗り方について、自転車免許証事業や実践を通し、正しい交通ルールの理解に努め、安全通行の重要性を喚起した。（P.22 図参照）

イ 交通安全用品の贈呈

新入学児童（約4,500名）に対し、日本コープ共済生活協同組合連合会から寄贈されたランドセルカバー（5,000枚）、全小学校へ集団登校旗（約1,200本）を配布し、交通安全意識の高揚を図った。

3. 各種交通安全運動の推進

(1) 春・秋の全国交通安全運動及び各種交通安全運動

春・秋の全国交通安全運動、年末の県民運動には、関係機関・団体と密接な連携を図り、次のとおり交通安全意識の高揚に努めた。

交通安全運動の推進

区分	期間	運動の基本及び重点	実施事項
春	4月6日 ～ 4月15日	<ol style="list-style-type: none"> 子どもと高齢者の交通事故防止 歩行中・自転車乗用中の交通事故防止（自転車については、特に自転車安全利用五則の周知徹底） 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底 飲酒運転の根絶 「シェア・ザ・ロード」の精神の普及促進と自転車乗車用ヘルメットの着用推進 	<ul style="list-style-type: none"> 来街者へ交通安全を呼びかける交通安全パレードの実施 交通安全運動の啓発チラシの作成 市政広報紙による運動の周知 本庁舎や各支所、市内の歩道橋に横断幕や懸垂幕の掲出 庁内放送による運動の周知 ホームページによる運動の周知 県庁前でドライバーへ安全運転を呼びかける人の輪作戦
秋	9月21日 ～ 9月30日	<ol style="list-style-type: none"> 子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底 飲酒運転の根絶 「シェア・ザ・ロード」の精神の普及促進と自転車乗車用ヘルメットの着用促進 	
年末	12月21日 ～ 12月31日	<ol style="list-style-type: none"> 高齢者の交通事故防止 飲酒運転の根絶 夕暮れ時と夜間の交通事故防止 自転車の安全利用と「シェア・ザ・ロード」の精神の普及促進 	

4. 松山市交通指導員の活動状況

交通安全活動推進の中核である交通指導員は、悲惨な交通事故の発生を防止するため、街頭指導を中心として、各種の交通安全活動に献身的かつ積極的に取り組んだ。

(1) 街頭指導等

各地区の実態に即した計画により、交通弱者（特に子どもと高齢者）の保護誘導に重点を置き、街頭指導を行うほか、こじかクラブ、小中学校、高齢クラブ、交通安全母の会等と連携し、時機と特性に適した交通安全教育の実施に努めた。

また、松山市交通指導員地区会長連合会として、高齢者に対する反射材の配布や自転車乗用者に対する安全利用の呼びかけを行った。

(2) 交通安全施設の点検整備

通学路を中心に交通安全施設の点検整備を行い、通学児童及び地域住民の安全確保に努めた。

(3) 各種行事実施に伴う交通指導員の出動状況

延べ 395 名が各種行事に出動して街頭指導に当たり、行事参加者及び観客の安全と交通の円滑を図り、交通事故の防止に努めた。(P. 6 表参照)

平成 29 年度松山市交通指導員 各種行事出動報告

NO.	月 日	行 事 名	出動人員
平成29年 1	4月2日(日)	松山春まつり・大名武者行列	39 名
2	4月6日(木)	春の交通安全パレード	24 名
3	5月20日(土)	城めぐり いざ出陣！！	7 名
4	7月19日(水)	交通安全県民大会	6 名
5	8月11～13日(金～日)	松山まつり	48 名
6	8月20日(日)	松山港まつり	18 名
7	9月21日(木)	秋の交通安全パレード	24 名
8	10月13・14日(金・土)	農林水産参観デー	16 名
9	10月21日(土)	風早ウォーク	9 名
10	11月19日(日)	風早マラソン	20 名
11	12月2日(土)	興居島駅伝	7 名
平成30年 12	1月7・8日(日・月)	初子祭	27 名
13	1月28日(日)	愛媛駅伝	59 名
14	2月4日(日)	愛媛マラソン	91 名
合 計			395 名

5. 松山市交通安全母の会連絡協議会の活動状況

“交通安全は家庭から”をスローガンに、安全で事故のない社会をつくるため、交通安全パレードや人の輪作戦への参加、自転車の正しい利用を呼びかけるイエローカードの高校・大学等への配布等の啓発活動をはじめ、交通安全研修大会等の開催・学習を通じて、交通事故を家族ぐるみで追放する気運を盛り上げた。

6. 広報活動

(1) 交通安全パレード（春・秋の全国交通安全運動）

春・秋の交通安全パレードを実施し、県警察本部音楽隊、交通指導員、セーフティリーダー、交通安全母の会、済美幼稚園園児（春）、松山のぞみ幼稚園園児（秋）など延べ約 540 名の参加協力を得て、交通安全運動の周知と交通安全思想の普及に努めた。

(2) その他の広報

次の広報媒体を活用し、広く市民に交通道德の高揚を促した。

広 報 媒 体	数等
横 断 幕	8 枚
懸 垂 幕	54 枚
チ ラ シ	24,500 枚
広 報 ま つ や ま	4 回
ホ ー ム ペ ー ジ	15 回
市庁舎での庁内放送	14 回
小学生交通安全ポスターの掲示	2 回

7. その他

平成 29 年度は、教育委員会と連携し、松山市立の全小学校で通学路の合同点検を実施しました。